

保土ヶ谷工場（仮称）改築工事

落札者決定報告書

令和6年1月

横浜市資源循環局

はじめに

本市には4つのごみ焼却工場が稼働していますが、それらの工場はいずれも竣工から20年以上が経過するなど老朽化が進んでいます。

特に、もっとも古い都筑工場は40年目を迎え、令和12年頃には耐用年数となる予定です。残る3工場ではごみ処理能力が不足するため、保土ヶ谷工場の再整備を進めているものです。

再整備にあたっては、安全で安定したごみの焼却をはじめ、自然災害への対応や、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

この「保土ヶ谷工場（仮称）改築工事」の発注にあたり、本市では、ごみ焼却工場の核となるごみ焼却設備は事業者毎に特殊な技術が使われており、その技術の違いにより施工方法等も異なることから標準的な設計ができないといった特性を踏まえ、入札参加者が保有する知識や技術、経験や情報を最大限に活用し、入札参加者の創意工夫による安全で円滑な工事進捗などを目的として、設計・施工一括（DB：Design Build）発注方式を採用しました。また、落札者の選定にあたっては、入札参加者からの入札価格（価格点）と技術提案（技術評価点）を総合的に評価する総合評価落札方式を採用しました。

令和5年4月25日に調達公告を行い、10月27日から31日までの入札期間に、1者から提案図書提出と入札がありました。この技術提案等は入札参加者の高い技術力が反映されたものであり、限られた期間中、多大な労力と時間を傾注していただいたことが伺えるものでした。

なお、入札参加者の技術提案等の評価は、本市附属機関として新たに設置した「横浜市資源循環局保土ヶ谷工場再整備工事技術提案等評価委員会」が行いました。

今回、入札価格点及び技術評価点を総合的に評価した結果、落札者を決定しましたので、ここに報告いたします。

最後に、本工事の落札者の選定に至るまで御協力をいただいた関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、多大な熱意を持って入札に御参加いただいた入札参加者に、改めて厚く御礼を申し上げます。

令和6年1月24日

横浜市資源循環局長 金高 隆一

目 次

- 第 1 本工事の概要
 - 1 本工事の目的
 - 2 本工事の概要
 - 3 契約締結までの主な経緯
- 第 2 落札者の選定に関する事項
 - 1 入札参加資格確認申請及び入札
 - 2 落札者選定に関する基本事項
 - 3 技術提案等の評価項目
 - 4 落札者決定基準
- 第 3 入札結果及び落札者の決定
 - 1 入札結果
 - 2 落札者の決定
- 第 4 契約の内容及び契約の相手方
- 第 5 技術提案の評価点

第1 本工事の概要

1 本工事の目的

本市には4つのごみ焼却工場が稼働しているが、それらの工場はいずれも、竣工から20年以上が経過するなど老朽化が進んでいる。

特に、もっとも古い都筑工場は40年目を迎え、令和12年頃には耐用年数となる予定である。本工事は、残る3工場ではごみ処理能力が不足するため、保土ヶ谷工場の再整備を行うものである。

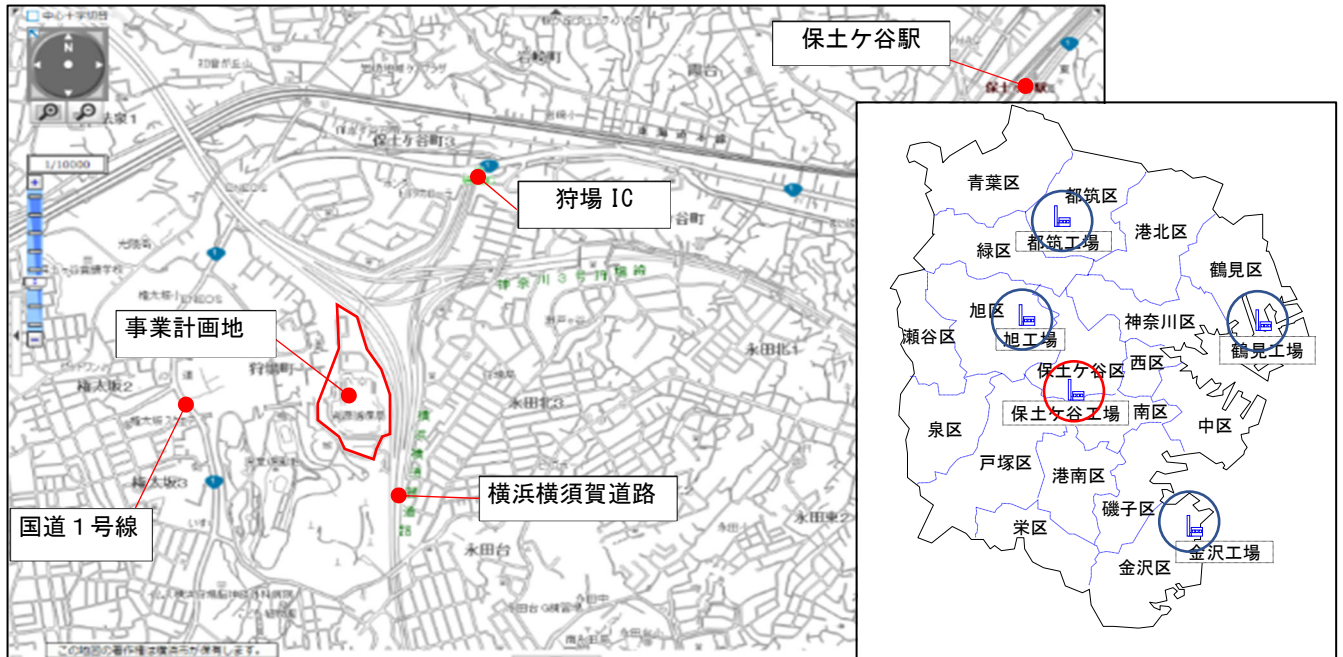


図 1-1 保土ヶ谷工場及び焼却工場配置図

2 本工事の概要

(1) 工事名

保土ヶ谷工場（仮称）改築工事

(2) 工事場所

保土ヶ谷区狩場町 295 番地の 2

(3) 工事概要

既存焼却工場解体・撤去工一式、焼却工場建設工事一式

以上の施工一式及びこれらの設計業務一式

(4) 落札方式

入札参加者からの入札金額（価格点）と技術提案（技術評価点）を総合的に評価する総合評価落札方式（以下、「総合評価落札方式」という。）

(5) 完成期限

令和13年3月31日

(6) 予定価格

67,690,000,000 円（消費税及び地方消費税相当額を除く。）

3 契約締結までの主な経緯

落札者決定までの主な経緯を表 1-1 に示す。

表 1-1 本工事の発注及び落札者決定の主なスケジュール

年月日	実施内容
令和 5 年 4 月 25 日	横浜市報調達公告
4 月 25 日 から 5 月 23 日	設計図書等に関する質問書① 受付期間
4 月 25 日 から 5 月 9 日	現地確認申込書受付期間
5 月 9 日 から 5 月 23 日	現地確認期間
4 月 25 日 から 5 月 31 日	入札参加資格の確認申請
6 月 7 日	設計図書等に関する質問書① 質問回答書の公表
6 月 7 日 から 6 月 14 日	対面的対話確認事項及び対面的対話への参加申込書 受付期間
6 月 19 日 から 6 月 21 日	対面的対話実施期間
6 月 29 日	対面的対話による回答公表
6 月 29 日 から 7 月 14 日	設計図書等に関する質問書② 受付期間
7 月 31 日	設計図書等に関する質問書② 質問回答書の公表
10 月 27 日 から 10 月 31 日	提案図書の受付期間（入札期間）
11 月 24 日	評価委員会から入札参加者に対して提案図書に関 する質問書送付
11 月 30 日	評価委員会からの質問に対しての回答期限受付期間
12 月 25 日	プレゼンテーション・ヒアリング実施期日
令和 6 年 1 月 9 日	開札（落札予定者の決定）
1 月 23 日	落札者の決定・仮契約
1 月 24 日	評価結果の公表

第2 落札者の選定に関する事項

1 入札参加資格確認申請及び入札

令和5年4月25日から5月31日までの間に入札参加資格確認申請書類の提出の受付を行い、2者から入札参加資格の確認申請を受理し、確認の結果、入札参加資格を有することが確認され、そのうち1者が入札に参加した。

表2-1 入札参加者一覧

グループ名	建設JV名
ケヤキ	三菱*・大林・フジタ・馬淵・大洋・梓異業種建設共同企業体

※代表構成員：三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社 国内事業部

2 落札者選定に関する基本事項

(1) 決定方法

総合評価落札方式にて落札予定者を決定した。

(2) 技術提案等評価委員会

本工事の落札予定者の決定にあたり、入札参加者から提出された技術提案について、学識経験者等の高度で専門的な知識に基づき、中立かつ公正な審査及び評価を行うため、本市附属機関として「横浜市資源循環局保土ヶ谷工場再整備工事技術提案等評価委員会（以下、「技術提案等評価委員会」という。）」を設置した。

技術提案等評価委員会の構成を表2-2に示す。

なお、厳正かつ公平な評価に資するため、技術評価委員会の全ての委員は、開札まで入札参加者名を知ることができないこととした。

表2-2 技術提案等評価委員会の構成

役職	氏名	現職名
委員長	大迫 政浩	国立環境研究所資源循環領域 領域長
委員	小野田 弘士	早稲田大学理工学術院大学院環境・エネルギー研究科 教授
委員	田中 稲子	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院／都市科学部 教授
委員	花嶋 温子	大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科 准教授
委員	藤原 周史	一般財団法人日本環境衛生センター 環境事業第一部 部長
委員	森 朋子	東京都市大学環境学部環境経営システム学科 准教授
委員	柳井 薫	一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 会長

3 技術提案等の評価項目

本工事における評価項目 を表2-3に示す。

表 2-3 評価項目及び配点

視点		配点
評価項目		
評価の視点		配点
安全で安定したごみ処理を行う焼却工場		
ごみ量、ごみ質変動への対応		
<ul style="list-style-type: none"> 短期的・長期的なごみ量、ごみ質の変動に対して安定したごみ処理を行うことができる焼却設備について、具体的かつ効果的な提案がされているか。 発注仕様書の範囲を超える性能曲線図が提案されているか。 特に、低負荷運転や低質ごみに対して、助燃材を使わずに安定運転可能な範囲について、発注仕様書以上の提案がされているか。 	2	
<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却排ガスの公害防止基準を安定的に遵守できる排ガス処理設備について、具体的かつ効果的な提案がされているか。 特に、排ガス中の水銀濃度の一時的な上昇にも対応できる経済性に優れた提案がされているか。 	1	
運営の効率化		
<ul style="list-style-type: none"> 蒸発量や炉温の変動抑制等、ごみ焼却炉の安定的な自動運転を可能とする燃焼制御装置について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、他施設に導入した燃焼制御装置における「蒸気発生量変動抑制」、「手動介入率」の実績を記載すること。 ごみ焼却炉運転についての初期サポート体制について、具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、サポート内容、期間、金額（目安）を記載すること。 	4	
<ul style="list-style-type: none"> ごみクレーン運転の自動化について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、他施設に導入したごみクレーンにおける手動介入率の実績を記載すること。 ごみクレーン運転について、圧密された滞貨ごみの自動攪拌・投入作業に関する有効な提案がされているか。 	3	
<ul style="list-style-type: none"> 現場計器指示値の自動取り込みや最新のデジタル技術の採用等、設備点検業務の省力化に関する実効性を持った具体的な提案がされているか。 ボイラ・タービン設備の安全管理審査におけるシステム「S」、「A」の取得を視野にいたした IoT やビッグデータによる異常検知等の高度運転管理システム導入について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 AI 監視システム等を活用した不適正搬入物持込防止対策について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 	3	

長寿命化と補修費の低減	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設のライフサイクル（50年程度使用）における、主要設備（ごみクレーン、灰クレーン、焼却炉、ボイラ水管、過熱器管、蒸気タービン（発電機含む）、ろ過式集じん器（ろ布含む）、灰押出装置、触媒脱硝等）の更新・補修費が低減されているか。 提案にあたっては、更新・補修費低減のための具体的な考え方も記載すること。 	9
用役費の低減	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場稼働時の用役費（水道、下水道、燃料、薬品）が低減されているか。 提案にあたっては、用役費を低減するための具体的な考え方も記載すること。 	6
最終処分場負荷の軽減	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱しゃく減量の低減や、飛灰発生抑制等、最終処分場負荷の軽減に繋がる具体的で経済的な提案がされているか。 提案にあたっては、焼却灰量等の削減量について記載すること。 ・ 焼却灰中の鉄分の資源化、落じん灰の資源化等について、費用対効果に優れた提案がされているか。 提案にあたっては、それぞれの資源化量・資源化先等、また、資源化に係る費用を記載すること。 	4
安全で使い勝手の良い施設配置・動線	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみ収集車、資源物収集車、焼却灰搬出車、薬品搬入車、整備車両等、工場に出入りする車両について、効率的で安全な動線が確保されているか。 図面等により考え方を記載すること。 特に、投入ステージにおける可燃性粗大ごみ破碎に係る作業の効率性・安全性が確保されているか。 	2
<ul style="list-style-type: none"> ・ 工場・事務所利用者、見学者、焼却工場職員、収集事務所職員について、効率的で安全な動線が確保されているか。 図面等により考え方を記載すること。 特に、職員動線について、効率化が図られているか。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模改修時に必要とされる主要設備（ごみクレーン、灰クレーン、焼却炉、ボイラ水管、過熱器管、蒸気タービン（発電機含む）、ろ過式集じん器（ろ布含む）、灰押出装置、触媒脱硝等）のメンテナンススペースについて、作業空間や工場職員の作業動線、機器搬入動線等が十分に確保されているか。 図面等により考え方を記載すること。 	

災害対策及び事故発生防止・被害拡大防止

- ・ 災害（地震、火災（ピット火災含む）、落雷）や事故（爆発、薬品漏洩、転落防止、熱中症、火傷等）について発生防止や発生時の対応を見据えた、具体的かつ効果的な提案がされているか。
- ・ 事故発生防止のためフェールセーフや、フールプルーフ、冗長化等の考え方を取り入れた実効性をもった具体的な設備・システム設計の提案がされているか。

1

地域に根ざした焼却工場

周辺に調和した外観デザイン

- ・ 周辺環境との調和の取れたデザイン（敷地周辺からの遠景に配慮し、特に東側を考慮）、外装色彩計画、建物高さ及び延床面積の低減等による圧迫感が軽減された建物形状の計画、日照への配慮（近接する敷地北西側住宅地への配慮を含む）についての考え方が図面等（立面図、パース図等）により具体的な提案がされているか。
- ・ 高さ115mの煙突（建物も含む）の周辺住民に配慮した夜間照明効果等によるランドマーク化、ごみ焼却工場のイメージアップに配慮した景観計画について、提案がされているか。
- ・ 維持管理のしやすさ（工場エリア、事務所エリア、煙突の高所部分での点検、修繕のしやすさ、仮設計画の立てやすさ等）について、経済性、耐久性にも考慮した上で、考え方を含めた具体的な提案（材料、工法等）がされているか。

3

充実した環境学習施設

- ・ 研修室について、映像等を通じて環境への理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：収容人数及び大型映像設備・諸室計画等）がされているか。
- ・ 見学者コースについて、発注仕様書に記載されているテーマの理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：効果的な見学者ルート設定及び最新のデジタル設備を用いた体験型説明設備等）がされているか。
- ・ 環境学習スペースについて、発注仕様書に記載されているテーマの理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：最新のデジタル設備を用いた体験型説明設備及び諸室の利用計画等）がされているか。
- ・ 地域利用スペースについて、地域の方々が体験を通じた環境教育・環境学習活動拠点となる具体的かつ効果的な提案（例：想定される利用計画を踏まえた諸室計画等）がされているか。
- ・ コンテンツの陳腐化防止に配慮した工夫や、設備・コンテンツの更新を行う際のコスト縮減（例：汎用品の採用や外注不要な更新の簡易化）に配慮した提案がされているか。

4

脱炭素社会の一翼を担う焼却工場

エネルギー創出の最大化

- ・ 高効率のごみ焼却発電の提案がされているか。
提案にあたっては、年間発電量を記載すること。
- ・ 将来のごみ量の減少及びごみ質の低下を見据えた蒸気発電設備の部分負荷効率向上について、実効性を持った具体的な提案がされているか。
- ・ 太陽光発電、小水力発電、風力発電等について、可能な限り導入が図られているか。
提案にあたっては、導入する設備容量[kW]を記載すること。

7

施設の省エネルギー

- ・ プラント設備の電力消費の低減が図られているか。
提案にあたっては、電力を低減するための具体的な考え方も記載すること。
- ・ 建築・建築機械設備・建築電気設備（本工事施工範囲）について、省エネルギーに配慮した具体的かつ効果的な提案（採用する材料・設備・手法・効果）がされているか。

3

脱炭素社会実現に資する有効な提案

- ・ 啓発用 CCU 設備は小型のものとし、回収した CO₂ を無駄なく、経済的かつ効果的に利用でき、ごみ焼却工場の脱炭素化への理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：見学者コースから実際に見ることの出来る位置での小規模な農作物育成促進の実施等）がされているか。
- ・ ごみ焼却工場の脱炭素化に向けた研究の場として事業者等へ提供できるスペースについて、実効性を持った具体的な提案がされているか。
提案にあたっては、具体的な研究テーマも記載すること。

2

工事における配慮

工事施工計画

- ・ 工事の品質確保について、考え方及び施工計画が提案されているか。
特に、構造躯体（ごみピット、構造部位、煙突外筒）の主要な躯体材料であるコンクリートのひび割れ防止対策について、設計段階及び製造・施工段階での具体的な提案がされているか。
- ・ 本工事において自主管理値を設ける等、周辺環境（騒音、振動等）へ配慮がなされた施工計画が提案されているか。
- ・ 工事中の安全対策について、実効性を持った具体的な提案がされているか。
- ・ 本工事における年度毎の工事出来高（令和6～12年度）の平準化、特に令和9～12年度の年度毎の出来高について、平準化が図られているか。

1

1

1

市内経済への貢献	
<ul style="list-style-type: none"> 本工事における市内中小企業の活用について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、本工事における市内中小企業活用率※、市内中小企業参画数について記載すること。 ※ 市内中小企業活用率：応札価格に対する市内中小企業の活用率。割合のみ記載、金額は記載しないこと。 工事施工時に随時、施工体制台帳により確認出来る値とすること 	5
地域への貢献	
<ul style="list-style-type: none"> 隣接している連合町内会、保土ヶ谷区において実施するお祭り・イベントへの参加・協賛、地域清掃活動の実施等、周辺地域への貢献に繋がる取組について、具体的な提案がされているか。 	1
	60

4 落札者決定基準

(1) 技術提案の評価基準

技術提案は、工事内容及び評価項目の理解度、並びに提案内容の具体性、有効性、実現性及び信頼性の高さを評価した。

技術提案の評価を行うための評価基準、評価点を表 2-4 に示す。

表 2-4 評価基準及び評価点

評価	評価基準	評価点
A	特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	発注仕様書を満足する程度	配点×0.00

(2) 評価値の算定基準

評価値の算定基準を図 2-1 に示す。

評価値＝価格点＋技術評価点	
価格点	$= 40 \times \frac{(\text{予定価格} - \text{入札価格})}{(\text{予定価格} - \text{定量化限度額})}$
技術評価点	＝ 技術評価点の満点 (60)
※価格点と技術評価点の比率は 4 : 6 とする。	
※入札価格及び予定価格は、消費税及び地方消費税相当額を除いた価格とする。	
※価格点及び技術評価点は、小数点以下第 4 位未満を切り捨てる。	
※定量化限度額：予定価格に 7.5/10 を乗じた額。	
※入札価格が定量化限度額を下回る場合においても、価格点は 40 点を上限とする。	

図 2-1 評価値の算出基準

(3) 落札者の決定

前項で算出した評価値が最も高い者を落札予定者とし、入札期間の最終日の翌日から落札決定するまでの間に、落札予定者はその構成員が横浜市指名停止等措置要綱に基づく指名停止（ただし、軽微な事由による指名停止及び停止期間が 1 か月以内の指名停止を除く。）を受けていない場合及び入札価格が調査基準価格を下回る場合は横浜市工事請負に係る低入札価格取扱要綱第 3 条に定める調査を行い、適正と認められる場合は、落札予定者を落札者として決定することとした。

第3 入札結果及び落札者の決定

1 入札結果

入札結果を表3-1に示す。

表3-1 入札結果

グループ名	建設JV名	技術評価点	入札価格	価格点	評価値
ケヤキ	三菱・大林・フジタ・馬淵・大洋・梓異業種建設共同企業体	43.205	67,688,000,000	0.004	43.209
ツバキ	日立造船・大成・東畑異業種建設共同企業体	辞退			

2 落札者の決定

表3-1より、三菱・大林・フジタ・馬淵・大洋・梓異業種建設共同企業体を落札者として決定した。

なお、落札者の入札価格は、調査基準価格を下回らなかったため、低入札調査は実施しなかった。

第4 契約の内容及び契約の相手方

契約の概要を表4-1に示す。

表4-1 契約の概要

契約番号	2322010018
発注担当課	資源循環局適正処理計画部施設計画課
件名	【仮契約】保土ヶ谷工場（仮称）改築工事
履行場所	保土ヶ谷区狩場町295番地の2
概要	既存焼却工場解体・撤去工一式、焼却工場建設工事一式 以上の施工一式及びこれらの設計業務一式
工種	機械器具設置、建築及び解体
仮契約日	令和6年1月23日
履行期限	契約日から令和13年3月31日
仮契約金額	74,456,800,000円
仮契約の相手方	三菱・大林・フジタ・馬淵・大洋・梓異業種建設共同企業体
入札参加資格等	令和5年4月25日公告 横浜市調達公告(契約番号2322010018)のとおり

第5 技術提案の評価点

入札参加者の技術提案の評価点を表5-1に示す。

表 5-1 資源循環局保土ヶ谷工場再整備工事技術提案等評価委員会 採点結果

視点			
評価項目			
評価の視点	配点	技術評価点	
安全で安定したごみ処理を行う焼却工場			
ごみ量、ごみ質変動への対応			
<ul style="list-style-type: none"> 短期的・長期的なごみ量、ごみ質の変動に対して安定したごみ処理を行うことができる焼却設備について、具体的かつ効果的な提案がされているか。 発注仕様書の範囲を超える性能曲線図が提案されているか。 特に、低負荷運転や低質ごみに対して、助燃材を使わずに安定運転可能な範囲について、発注仕様書以上の提案がされているか。 	2	1.785	
<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却排ガスの公害防止基準を安定的に遵守できる排ガス処理設備について、具体的かつ効果的な提案がされているか。 特に、排ガス中の水銀濃度の一時的な上昇にも対応できる経済性に優れた提案がされているか。 	1	0.535	
運営の効率化			
<ul style="list-style-type: none"> 蒸発量や炉温の変動抑制等、ごみ焼却炉の安定的な自動運転を可能とする燃焼制御装置について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、他施設に導入した燃焼制御装置における「蒸気発生量変動抑制」、「手動介入率」の実績を記載すること。 ごみ焼却炉運転についての初期サポート体制について、具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、サポート内容、期間、金額（目安）を記載すること。 	4	2.857	
<ul style="list-style-type: none"> ごみクレーン運転の自動化について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、他施設に導入したごみクレーンにおける手動介入率の実績を記載すること。 ごみクレーン運転について、圧密された滞貨ごみの自動攪拌・投入作業に関する有効な提案がされているか。 			
<ul style="list-style-type: none"> 現場計器指示値の自動取り込みや最新のデジタル技術の採用等、設備点検業務の省力化に関する実効性を持った具体的な提案がされているか。 ボイラ・タービン設備の安全管理審査におけるシステム「S」、「A」の取得を視野にいれた IoT やビッグデータによる異常検知等の高度運転管理システム導入について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 	3	2.142	
<ul style="list-style-type: none"> AI 監視システム等を活用した不適正搬入物持込防止対策について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 			

長寿命化と補修費の低減		
<ul style="list-style-type: none"> 施設のライフサイクル（50年程度使用）における、主要設備（ごみクレーン、灰クレーン、焼却炉、ボイラ水管、過熱器管、蒸気タービン（発電機含む）、ろ過式集じん器（ろ布含む）、灰押出装置、触媒脱硝等）の更新・補修費が低減されているか。 提案にあたっては、更新・補修費低減のための具体的な考え方も記載すること。 	9	7.392
用役費の低減		
<ul style="list-style-type: none"> 工場稼働時の用役費（水道、下水道、燃料、薬品）が低減されているか。 提案にあたっては、用役費を低減するための具体的な考え方も記載すること。 	6	3.214
最終処分場負荷の軽減		
<ul style="list-style-type: none"> 熱しゃく減量の低減や、飛灰発生抑制等、最終処分場負荷の軽減に繋がる具体的で経済的な提案がされているか。 提案にあたっては、焼却灰量等の削減量について記載すること。 焼却灰中の鉄分の資源化、落じん灰の資源化等について、費用対効果に優れた提案がされているか。 提案にあたっては、それぞれの資源化量・資源化先等、また、資源化に係る費用を記載すること。 	4	3.285
安全で使い勝手の良い施設配置・動線		
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集車、資源物収集車、焼却灰搬出車、薬品搬入車、整備車両等、工場に出入りする車両について、効率的で安全な動線が確保されているか。 図面等により考え方を記載すること。 特に、投入ステージにおける可燃性粗大ごみ破碎に係る作業の効率性・安全性が確保されているか。 	2	1.142
<ul style="list-style-type: none"> 工場・事務所利用者、見学者、焼却工場職員、収集事務所職員について、効率的で安全な動線が確保されているか。 図面等により考え方を記載すること。 特に、職員動線について、効率化が図られているか。 		
<ul style="list-style-type: none"> 大規模改修時に必要とされる主要設備（ごみクレーン、灰クレーン、焼却炉、ボイラ水管、過熱器管、蒸気タービン（発電機含む）、ろ過式集じん器（ろ布含む）、灰押出装置、触媒脱硝等）のメンテナンススペースについて、作業空間や工場職員の作業動線、機器搬入動線等が十分に確保されているか。 図面等により考え方を記載すること。 		

災害対策及び事故発生防止・被害拡大防止

- ・ 災害（地震、火災（ピット火災含む）、落雷）や事故（爆発、薬品漏洩、転落防止、熱中症、火傷等）について発生防止や発生時の対応を見据えた、具体的かつ効果的な提案がされているか。
- ・ 事故発生防止のためフェールセーフや、フールプルーフ、冗長化等の考え方を取り入れた実効性をもった具体的な設備・システム設計の提案がされているか。

1

0.500

地域に根ざした焼却工場

周辺に調和した外観デザイン

- ・ 周辺環境との調和の取れたデザイン（敷地周辺からの遠景に配慮し、特に東側を考慮）、外装色彩計画、建物高さ及び延床面積の低減等による圧迫感が軽減された建物形状の計画、日照への配慮（近接する敷地北西側住宅地への配慮を含む）についての考え方が図面等（立面図、パース図等）により具体的な提案がされているか。
- ・ 高さ115mの煙突（建物も含む）の周辺住民に配慮した夜間照明効果等によるランドマーク化、ごみ焼却工場のイメージアップに配慮した景観計画について、提案がされているか。
- ・ 維持管理のしやすさ（工場エリア、事務所エリア、煙突の高所部分での点検、修繕のしやすさ、仮設計画の立てやすさ等）について、経済性、耐久性にも考慮した上で、考え方を含めた具体的な提案（材料、工法等）がされているか。

3

1.285

充実した環境学習施設

- ・ 研修室について、映像等を通じて環境への理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：収容人数及び大型映像設備・諸室計画等）がされているか。
- ・ 見学者コースについて、発注仕様書に記載されているテーマの理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：効果的な見学者ルート設定及び最新のデジタル設備を用いた体験型説明設備等）がされているか。
- ・ 環境学習スペースについて、発注仕様書に記載されているテーマの理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：最新のデジタル設備を用いた体験型説明設備及び諸室の利用計画等）がされているか。
- ・ 地域利用スペースについて、地域の方々が体験を通じた環境教育・環境学習活動拠点となる具体的かつ効果的な提案（例：想定される利用計画を踏まえた諸室計画等）がされているか。
- ・ コンテンツの陳腐化防止に配慮した工夫や、設備・コンテンツの更新を行う際のコスト縮減（例：汎用品の採用や外注不要な更新の簡易化）に配慮した提案がされているか。

4

2.857

脱炭素社会の一翼を担う焼却工場

エネルギー創出の最大化

<ul style="list-style-type: none"> 高効率のごみ焼却発電の提案がされているか。 提案にあたっては、年間発電量を記載すること。 	7	6.500
<ul style="list-style-type: none"> 将来のごみ量の減少及びごみ質の低下を見据えた蒸気発電設備の部分負荷効率向上について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 		
<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電、小水力発電、風力発電等について、可能な限り導入が図られているか。 提案にあたっては、導入する設備容量[kW]を記載すること。 		

施設の省エネルギー

<ul style="list-style-type: none"> プラント設備の電力消費の低減が図られているか。 提案にあたっては、電力を低減するための具体的な考え方も記載すること。 	3	2.142
<ul style="list-style-type: none"> 建築・建築機械設備・建築電気設備（本工事施工範囲）について、省エネルギーに配慮した具体的かつ効果的な提案（採用する材料・設備・手法・効果）がされているか。 		

脱炭素社会実現に資する有効な提案

<ul style="list-style-type: none"> 啓発用 CCU 設備は小型のものとし、回収した CO2 を無駄なく、経済的かつ効果的に利用でき、ごみ焼却工場の脱炭素化への理解を深める具体的かつ効果的な提案（例：見学者コースから実際に見ることの出来る位置での小規模な農作物育成促進の実施等）がされているか。 	2	1.285
<ul style="list-style-type: none"> ごみ焼却工場の脱炭素化に向けた研究の場として事業者等へ提供できるスペースについて、実効性を持った具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、具体的な研究テーマも記載すること。 		

工事における配慮

工事施工計画

<ul style="list-style-type: none"> 工事の品質確保について、考え方及び施工計画が提案されているか。 特に、構造躯体（ごみピット、構造部位、煙突外筒）の主要な躯体材料であるコンクリートのひび割れ防止対策について、設計段階及び製造・施工段階での具体的な提案がされているか。 	1	0.464
<ul style="list-style-type: none"> 本工事において自主管理値を設ける等、周辺環境（騒音、振動等）へ配慮がなされた施工計画が提案されているか。 	1	0.678
<ul style="list-style-type: none"> 工事中の安全対策について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 		
<ul style="list-style-type: none"> 本工事における年度毎の工事出来高（令和6～12年度）の平準化、特に令和9～12年度の年度毎の出来高について、平準化が図られているか。 	1	0.714

市内経済への貢献		
<ul style="list-style-type: none"> 本工事における市内中小企業の活用について、実効性を持った具体的な提案がされているか。 提案にあたっては、本工事における市内中小企業活用率※、市内中小企業参画数について記載すること。 ※ 市内中小企業活用率：応札価格に対する市内中小企業の活用率。割合のみ記載、<u>金額は記載しないこと。</u> 工事施工時に随時、施工体制台帳により確認出来る値とすること 	5	3.571
地域への貢献		
<ul style="list-style-type: none"> 隣接している連合町内会、保土ヶ谷区において実施するお祭り・イベントへの参加・協賛、地域清掃活動の実施等、周辺地域への貢献に繋がる取組について、具体的な提案がされているか。 	1	0.857
	60	43.205